

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会



やわらぎの郷公園の春 < 2020.4.4 >

## 能登川再発見

### 能登川で出会う 美しい風景

旅に出なくても、  
私たちの身近には美しい景色が  
たくさんあります。  
変わらぬ故郷の風景に、  
日々の疲れが  
少しでも癒されますように…



伊庭内湖と琵琶湖 < 2019.5.22 猪子山・北向岩屋十一面観音前 >

発行日：令和2年6月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793 (平日のみ) FAX : 0748-42-1556

E-mail : notomatikyo@e-omi.ne.jp <http://notomatikyo.com/>

NO. 79

## (一社)能登川地区まちづくり協議会 安全・安心事業部からのお知らせ

梅雨シーズンを迎え、災害の発生が懸念される季節となりました。  
新型コロナウイルス感染拡大防止から、春先の諸行事が中止に追い込まれております。

当事業部でも、今年度の自主防災活動啓発ができず苦慮しておりますが、地域のみなさまには、改めて、「自助・共助・公助」の観点からハザードマップなどにて、予想される災害リスクの確認をお願いいたします。

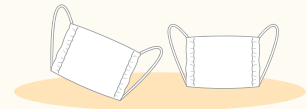
現下の状況が収束後、右記の研修会などのご案内を予定しております。  
地域の防災担当をはじめみなさまの積極的なご参加をお待ちします。

**災害**  
という時の  
ために！

- 自主防災活動リーダー研修会
- 愛知川流域自治会防災会議
- 福祉と防災のまちづくり講演会



## 善意銀行に手作りマスク寄贈



■日時：3月24日(火)

東近江市能登川赤十字奉仕団（田附弘子委員長）では、団員が持ち寄ったガーゼ生地ですの連休にマスクとハンカチを手作りし高齢者向けに寄贈しました。

マスク不足の折り、貴重な贈り物となりました。



## 〈能登川病院情報〉

### 医師離任式

3月26日(木)午後4時から、整形外科の橋口淳一医師、内科の吉田寿一郎医師と後藤大樹医師3名の離任式を行いました。

能登川病院をよくする会（会長 川南博司）から感謝状と記念品を贈りました。

橋口医師は、非常勤として、木曜日の診察は継続されます。

また、4月からは吉田医師と交代した菅谷武史医師を含めた体制で内科の土曜日受診が可能となりました。

小児科（内分秘）には、森麻美医師（前日野記念病院副院長）が着任され、午後の予約診療が一層充実したものになります。（別刷りの「能登川病院をよくする会」ニュースをご覧ください）

眼科の吉田部長は、副院長付心得に任命されました。

従来の日野と湖東の両記念病院を結ぶ循環バス（予約不要）も、蒲生医療センターを含めた一日3便を設け、利便の向上が図られました。



■能登川病院をよくする会

## 能登川の気になるスポット

# “啐啄同時”って？

県立能登川高等学校の門前近くの校内に立っている看板（写真）は何を意味しているのでしょうか？

師弟が共鳴して学び合う姿を象徴的に表現した「禅語」で、学校の校訓です。

「厳しいけれども温かい指導」を通して確かな学力を身につけ、自由と責任の意味を学び、自律的な高校生活を送ってほしいと願い、生徒の夢の実現を心から応援しています。そして、共に努力し、ここで学んで良かったと誇れる高校生活にしましょうという先生からのメッセージです。

元々の意味は、鶏のヒナが卵から生まれ出ようとするとき、卵の中から殻をつついて音をたてます。これを「啐」と言います。そのとき、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄」と言います。そしてこの「啐」と「啄」が同時であってはじめて、殻



が破れてヒナが産まれるわけです。鶏に限らず、「オーイ」と呼ばれたら「ハイ」と返事する、人間の親子の関係にもいえます。

さて、昭和38年に男女共学の普通科高校として創立され、平成30年に55周年を迎えた県立能登川高等学校は、1万名を超える卒業生を送り出しています。

平成26年度から定時制課程を開設し、全日制・定時制昼間部・定時制夜間部を揃えた三部制の学校となり、約500名の高校生の姿は、能登川の日常から切り離すことはできません。



能登川高校  
イメージキャラクター  
「いのっち」

## 令和2年度 能登川地区自治会長・まちづくり委員

(能登川地区自治会連合会役員 ◎:会長 ○:副会長 □:幹事 △:監事)

(敬称略)

自治会名	自治会長	まちづくり委員	自治会名	自治会長	まちづくり委員
旭ヶ丘	宇賀孝司	上島一雄	神郷団地	若林逸枝	中谷美幸
阿弥陀堂町	脇清太郎	脇清太郎	新種	大橋俊浩	作田友哉
安楽寺	山本常隆	中村孝雄	躰光寺町	□太附治樹	松本保廣
イーストロード	田中良憲	小辰理	大地	小笠原光雄	平井信行
泉台	□桐田茂	川平哲也	大徳寺	鈴木正美	鎌倉正幸
猪子町	□中川弘一	小林一豊	大中町	□脇純一	福阪洋
伊庭町	△川原崎弥三男	八尋雅哉	高岸台	山下正克	山下正克
今町	上林重次	上林重次	種	大橋武次	辻孝昌
小川	山本廣太郎	山本廣太郎	長勝寺	野村勝治	藤野真武
奥田社宅	清川廣子	清川廣子	ドリームハイツ	松岡昇	河合真一
尾毛台	荻野義明	荻野義明	能登川	野田健治	野田健治
乙女浜町	脇博文	今堀九一郎	能登川栄町	小島光春	元持ちず子
垣見町	□藤野克己	桂田昌彦	パークシティ能登川	西澤秀明	國分龍雄
川南町	川南清	川南清	早苺	中島康之	阿部次郎
北須田	川畑文雄	岡田孝二	林町	小倉潤二	小倉潤二
きぬがさ城東	中川卓治	和田和明	東佐生	佐藤健	渡邊正史
きぬがさ中央	上田絹治郎	上田絹治郎	東佐野	三木秀夫	三木秀夫
きぬがさ中洲	仲西和彦	仲西和彦	福堂	○田井中安行	田井中安行
栗見新田町	村林道明	村林道明	堀切	増子隆弘	壁谷徳康
栗見出在家町	横江国夫	藤井三千夫	本町	藤居正博	藤木利彦
桜ヶ丘	坂本仁士	大野英器	緑が丘	春藤政治	春藤政治
佐生	□田附善章	小林晃	南佐野	中川英明	中川信也
佐野	□中澤康夫	寺井郁雄	南須田町	□宮澤典久	宮澤幸久
志賀田	上林睦	石田秀雄	山路町	○里田明	小南聡
新宮西	上田美智男	澤太一	レインボーシティ	菅敏行	菅敏行
新宮東	△若林盛隆	若林吉一	若葉	杉浦寛隆	杉浦綾子
神郷	◎清水秀男	山本浩三			



# 能登川のむかし話

【シリーズ16】

## 乙女浜の字の由来と欲深い二人の道具屋さん

これは、わしのおやじから聞いた話でな。後醍醐天皇さんが、足利尊氏とのいくさに敗けて比叡山へおちのびてきやはったときのことや。家来から、能登川の方に大変美しい娘さんがいるということをお聞きになって、ぜひ一度、その娘さんに会ってみたいと、この村へ行幸されることになったんや。そこで、わしらの村では、お出迎えやお世話の準備で大変やった。そして、天皇さんが一時、わしらの村に留まられたことを祝って、村の名を王留おうりゅうというようになったんやが、いつの頃からか王留おうりゅうが乙女おんなになったんや。



さて、村に留まられた天皇さんは、お世話になったしるしにと、一振りの長い刀とお墨付きの入った木の箱を村人にくださったそうや。しかし、そのお墨付きは、その後の大水で流されてしまい、残った一振りの刀は、その後、てんでんと持ち主をかえることになったんや。この刀、最初は乙女の庄屋をしていた家に代々伝わっていたんやが、ある時、庄屋さんの家で親族の寄りがあったとき、たまたま刀の話が出て、そんな刀を持っていると、これから先どんな災難が降りかかるかもしれんというみんなの意見で、結局、刀を手放すことにしたんや。ちょうど、この村に茂平じいさんという刀好きの老人がいやはって、五両でその刀を買って

くれやはったんやが、やっぱり祟りがあるとこわいというので、今度は、伊庭の道具屋さんに十五両で売ってしまった。十五両で刀を手に入れた伊庭の道具屋さんは、その刀がよっぽど気に入ったとみえて、能登川の道具屋さんに見せにいかはったんや。そして、この刀を見せられた能登川の道具屋さんは、その立派さに驚き、大阪へ持っていったらもっと高く売れるやろな、と言わはったので、商売気を出した伊庭の道具屋さんは、能登川の道具屋さんといっしょに、大阪へ売りに行かはったんや。そして、大阪の名のある道具屋さんに見てもらはったところ、その道具屋さんは五百両の値をつけやはった。ところが、伊庭と能登川の道具屋さんは欲をだして、大阪で五百両なら、神戸へもって行ったら、もっと高く売れるんやないかと相談しやはってな。次の日、神戸へ売りに行くこうとして宿屋をたつとしゃはったんやが、腹が以痛うなって身動きがとれなくなってしまうた。



二、三日様子を見ることにしたんやが、いっこうに痛みがおさまらん。これはやっぱり、この刀の祟りがあったんやと思ひ、二人の道具屋さんは、大阪の道具屋さんに五百両で売ることにはやはったんや。すると、ふしぎなことに腹の痛みもはたとおさまったが、その後刀の行方はわからへんようになってしまうたというこや。

出典：「能登川のむかし話」 昭和55年能登川町教育委員会

## 地域のイベント

※都合により変更・中止の場合があります。

### 能登川コミュニティセンター

#### 令和2年度 段ボールコンポスト講習会

- 日時：① 7月4日(土)
- ② 11月7日(土)
- ③ 令和3年3月6日(土)
- 10:00~11:00



- 募集人数：各回15名
- ※当日参加も可能です。

- 内容：「家庭で手軽にできる堆肥づくり」で、台所のゴミ出しが半減！自然にやさしい環境づくりに、あなたもチャレンジしませんか。

\*段ボール箱を利用した生ごみ処理容器に土壌改良剤を入れ、好気性微生物の力で生ごみを分解して堆肥を作ります。

- 費用：無料
- 主催：(一社)能登川地区まちづくり協議会
- TEL 050-5802-2793 平日 9:00~17:00

## 新型コロナウイルス感染防止対策

基本とされる咳エチケット、うがい、手洗いなどの徹底に努めていただくとともに、クラスター（感染者の集団）を発生させるとされるいわゆる三密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避け、感染者が多く発生している地域への移動など、不要な外出を控えましょう。

### 3つの咳エチケット



マスクを着用する（口・鼻を覆う）  
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う  
袖で口・鼻を覆う